



**PRANTIK GABESHANA PATRIKA**  
**MULTIDISCIPLINARY-MULTILINGUAL-PEER REVIEWED-REFERRED-BI-**  
**ANNUAL DIGITAL RESEARCH JOURNAL**

Website: **SANTINIKETANSAHIYAPATH.ORG.IN**

**VOLUME-1 ISSUE-1 JULY 2022**

日本語及びベンガル語における「形容詞＋動詞」の表現

**Sudip Singha**

**&**

**Prosenjit Chakraborty**

**LINK:** <https://santiniketansahityapath.org.in/wp-content/uploads/2022/12/Sudip-Sinha-prasenjit-chakraborty-final-1.pdf>

**Abstract:** Japanese and Bengali are two of the major Asian languages. Japanese is considered to be one of the very few unclassified languages due to its' unique mixed linguistic features. Despite of this fact, both the languages share various resembling and significant linguistic features. For instance, both follow the same word order in a sentence, i.e., SOV pattern. Both languages carry the characteristics of Agglutinating language. We can see a very active presence of onomatopoeic words in both languages. This study attempts to find out how the Japanese expression [**Adjective + Verb-なる/する**] expressed in Bengali with a focus on the Adjective.

**Keywords:** 日本語、ベンガル語、形容詞、動詞、表現

## 1. はじめに

日本語は言語学的にとされるが、文法的観点から見ればインドにおいて見られる語群と共通するところが多いとされる。から日本語は典型的である。他方、ベンガル語はインドで話される言語の中で第二言語（ヒンディ語に次ぐ）言語でありながら、日本語と類似するところが非常に多い。日本語とベンガル語の両方とも語順の観点から「主語—目的語—述語」、つまり、SOV型言語である。そのため、後置詞の「～より、～のように、～の間に・～চেয়ে、～ছড়া、～ব্যতীত、～মত

」などの存在が見られ、形容詞は名詞の前に共起し「例えば、赤い花・লাল ফুল、白いシャツ・সাদা জামা、黒い靴・কালো জুতোなど」、副詞（ベンガル語の場合、形容詞の一種と扱われる）は動詞の前に共起する「例えば、速く歩く・তড়াতড়ি হাঁটা、 ゆっくり話す・ধীরে ধীরে কথা বলা など」。また、日本語において使用される基本的な表現方法の「～して見る・করে দেখা、～しに行く・করতে যাওয়া、～なって行く・হয়ে যাওয়া、～なってきます・হয়ে আসা、～した後・করার পরなど」は両方ともそっくりに有しており日常会話でも非常によく使用される。それだけでなく、日本語のへそとされるオノマトペ（擬音・声・態語）がベンガル語において多数に見られ、一般生活や文学世界でもに用いられる。両言語においてもオノマトペの動詞、副詞などの機能を尽くすに当たって似たような仕組みが見られるのも極めて特徴的である。

言語学的側面からこういった特徴を有する二言語である日本語とベンガル語において、日本語で使用される「形容詞+動詞（なる・する・すぎる・たがるなど）」の表現に対してベンガル語においてどのような表現方法が見られるか、例をあげながら統語・形態的観点から本研究で検討する。

## 2. 形容詞+動詞 - なる

「形容詞+動詞-なる」は何かの性質・状態・事態・程度などの変化を表す表現として使用される。下記の例文を見てみよう。

### 2.1 イ-形容詞+動詞-なる

- にわのマンゴの木が今年はずこし大きくなりました。 বাগানের আম গাছটা এই বছর সামান্য বড় হয়েছে
- 川の水がだんだん汚くなっています。 নদীর জল দিনদিন অপরিস্কার হয়ে যাচ্ছে
- 情態が徐々に悪くなり始めました。 পরিস্থিতি একটু একটু করে খারাপ হতে শুরু করেছে
- これからだんだん熱くなって行きます。 এখন থেকে দিন দিন গরম পড়তে থাকবে
- 最近は大いぶ寒くなってきました। সম্প্রতি খুব ঠাণ্ডা পড়েছে

2.1の事例は「イ - 形容詞+なる」という表現法とそのアスペクトによるものである。それぞれの事例においてイ - 形容詞「大きい、汚い、悪い、熱い、寒い」が活用した上で動詞「なる」が次に共起している。それに対して、ベンガル語の場合形容詞の「বড়、 অপরিস্কার、 খারাপ、 গরম、 ঠাণ্ডা」は元の形態のまま用いられている。日本語と違い、共起する動詞・複合動詞のみが活用するのが見られる。

## 2.2 ナ-形容詞＋動詞-なる

- 日が沈んで周りは静かになりました。 সূর্যাস্তের পরে চারিদিক চুপচাপ হয়ে গেছে।
- 空気はきれいになっています。 (ইদানীং) বাতাস বিশুদ্ধ হয়েছে।
- 薬を飲んで少しずつ元気になり始めました。 ওষুধ খেয়ে একটু একটু করে সুস্থ হতে শুরু করেছি।
- これから世界はだんだん平和になって行きます。 এখন থেকে পৃথিবীটা ধীরে ধীরে শান্তিময় হয়ে উঠতে থাকবে।
- カレーのことはもういやになってきました。 বোলের প্রতি বিরক্তি চলে এসেছে।

2.2の事例は日本語における「ナ-形容詞＋なる」という表現法を示している。それぞれの事例では形容詞「静かな、きれいな、元気な、平和な、いやな」は活用したうえで、形容詞の次に動詞-なると組み合わせになっている。他方、ベンガル語の形容詞には上記の2.1の事例と同様に形態変化を起こさずそのまま使用され、次に現れる動詞のみが活用している。

## 3. 形容詞＋動詞-する

「形容詞＋動詞-する」は誰か・何かが何かの性質・状態・事態・程度に変化を行わせる時用いる表現である。下の例を見てみよう。

### 3.1 イ-形容詞＋動詞-する

- うるさいから、ラジオの音を小さくしました。 কানে লাগছে বলে, রেডিওর আওয়াজ কম করলাম।
- 暗いから、電気の光を強くしました。 অন্ধকার বলে, বাতির আলোটা জোরালো করলাম।

3.1の事例において、形容詞 - 小さいと強いが活用し、次に現れる動詞 - するが時制によって活用しているのが見られる。それに対して、ベンガル語の形容詞 - কমと বেশীそれぞれには何の変化も見られない。代わりに、組み合わせとなる動詞 - করা にのみ活用が観察される。

### 3.2 ナ-形容詞＋動詞-する

- みんなで世界を平和にしなければなりません。 সবাই মিলে পৃথিবীকে শান্তিময় করে না তুললেই নয়।
- 私はもっと体を丈夫にしたいです。 আমি শরীরকে আরও শক্তসবল করতে চাই।

3.2で例示されているように、形容詞 - 平和なと丈夫なが活用し、次に現れる動詞 - するが活用しているのが見られる。それに対して、ベンガル語の形容詞 - শান্তিময়と শক্তসবলには何の変化も見られない。代わりに、組み合わせとなる動詞 - করা に限って活用が観察される。

## 4. 考察

2.1、2.2、3.1、3.2の事例が示すように、日本語における「形容詞＋動詞 - なる／する」という表現方法に対して、ベンガル語の品詞の位置も同様である。すなわち両者ともに形容詞は動詞の前に共起する。更に厳密に言えば、ほとんどの場合、日本語における「形容詞＋動詞 - なる／する」の表現に対して、ベンガル語も「なる／する」と同じ意味を現す動詞「হওয়া・howa / 「করা・kora」を用いることは極めて特徴的である。よく考えて見れば、日本語及びベンガル語の間に存在する類似性は言語学的観点からはもちろん、両言語の作品を翻訳するに当たっても非常に意義的研究課題にもなるのではないかと考えられる。

### 参考文献

- 初級日本語文法解説 [英語版] 東京外国語大学留学生日本語教育センター[編・著]  
凡人社 2001.
- Chakravarty, Bamandev. *Uchchatarā Bangla Vyākaran (Higher Bengali Grammar)*, Kolkata, Akshay Malancha, 2007.
- 丹羽京子ニューエクスプレスベンガル語 (CD付) 白水社東京2014.
- 藤原敬介 印度民族研究, Osaka University Knowledge Archive: OUKA, 12P.89-P.108  
URL: <http://hdl.handle.net/11094/50057>
- Kongari, Neera & Anushree. Paper No.01: 日本語の文法 (Japanese Grammar: An Overview), Module 16: 複合動詞 (Compound Verbs), e-content, MHRD, India.  
URL: <https://epgp.inflibnet.ac.in/Home/ViewSubject?catid=830>
- Pardeshi, Prashant. Paper No.02: 日本語学 (Japanese Linguistics), Module 01: 世界の言語と日本語 (Languages of the world and Japanese), e-content, MHRD, India.  
URL: <https://epgp.inflibnet.ac.in/Home/ViewSubject?catid=830>
- 梁玥博士論文「中国語と日本語の形容詞による動的表現の対象研究」, 国際文化研究科国際文化専攻, 鹿児島国際大学大学院, 2020年3月.

### About Authors:

**Sudip Singha:** Ph.D. Scholar (Submitted), Dept. of Japanese, Bhasha Bhavana, Visva-Bharati

**Prosenjit Chakraborty:** Ph.D. Scholar, Dept. of Japanese, Bhasha Bhavana, Visva-Bharati